

- 問1 日本の農業統計において、北海道は他地域と比較して耕地面積に占める牧草地の割合が非常に高いという特徴があります。このような広大な土地を利用した酪農で生産される生乳の利用状況について、正しい説明はどれですか。（2025年 岐阜県公立入試 類似）
1. 生産された生乳の8割以上が、バターやチーズなどの加工用として利用されている。
 2. 生産された生乳は、九州地方などの遠方の乳製品工場へ生乳のまま輸送されることが一般的である。
 3. 生産された生乳は、果樹園の肥料や家畜の飼料としてその大半が地域内で消費されている。
 4. 生産された生乳のほとんどが、鮮度を保持したまま大都市圏へ飲用として出荷されている。
- 問2 積雪の多い地域の道路で見られる、道路の上方に矢印を掲げた「固定式視線誘導柱」という標識について、その仕組みや必要とされる背景を説明したものととして適切なものはどれですか。（2021年 兵庫県公立入試 類似）
1. 地吹雪による視界不良を防ぐために、道路脇に設置された防雪柵が作動する範囲を運転者に伝える仕組み。
 2. 路面が凍結しやすい場所に設置され、気温が一定以下になると矢印が自動的に発光してスリップ注意を促す仕組み。
 3. 道路の端（路肩）の位置を高い場所から指し示すことで、地面が雪に覆われた状態でも車道の範囲を知らせる仕組み。
 4. 雪の重みによる路面の変形を確認するため、道路の測量地点を高い位置から特定しやすくする仕組み。
- 問3 1977年から2017年にかけての北海道における稲作の動向について、作付面積と総収穫量はともに減少していますが、1ヘクタールあたりの収穫量は増加傾向にあります。このように、一定の土地面積から得られる収穫量が増える背景として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 岡山県公立入試 類似）
1. 生産技術の向上や寒さに強い品種改良が進み、土地あたりの生産性が高まったため。
 2. 地球温暖化の影響のみによって、北海道全域が稲作に最適な亜熱帯気候に変化したため
 3. 政府の減反政策により、小規模な農家がすべて廃業して大規模農場に集約されたため。
 4. 化学肥料の使用を一切やめ、伝統的な手作業による農法に回帰したため。
- 問4 石狩川の上流域に位置し、旭川市などを中心とする上川盆地で見られる大規模な農業の特色として、最も適切なものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）
1. 大規模な機械を用いた、小麦やてんさい（ビート）を生産する畑作が中心の地域である
 2. 夏の涼しさを利用して、キャベツやレタスなどを出荷する高原野菜の栽培が中心である
 3. 石狩川の豊富な水資源と土地改良によって作られた、広大な水田が広がる稲作地帯である
 4. 冷涼な気候を活かして、牛を飼育し生乳を生産する酪農が最も盛んな地域である
- 問5 北海道東部の根釧台地において、稲作ではなく酪農が盛んに行われている理由として、その土地の自然環境について正しく説明しているものはどれですか。（2018年 長野県公立入試 類似）
1. 年間を通じて温暖で降水量が少なく、乳牛の病気を防ぐために乾燥した土地を利用する必要があったため
 2. 夏でも気温が上がりやすく霧が発生しやすい寒冷な気候であり、作物の栽培よりも牧草の生育に適しているため
 3. 広大な平坦地が広がり、大型機械を用いた大規模な小麦や大豆の栽培に特化した方が効率的であったため
 4. 火山灰が堆積した土地で水持ちが悪く、大規模な灌漑施設を整備して水田を開発することが困難であったため
- 問6 北海道の日本海沿岸に位置する稚内付近では、5月から6月にかけて月別平均日照時間がピークを迎えます。このような自然環境に関する説明として、誤っているものはどれですか。（2021年 兵庫県公立入試 類似）
1. 5月から6月にかけて日照時間が長くなるのは、梅雨前線の影響を本州ほど受けにくいことも背景にある。
 2. 夏季の日照時間が長いのは、寒流である千島海流が宗谷海峡を通過して日本海へ流れ込み、雲の発生を抑えるからである。
 3. この地域が日本の他地域に比べて高緯度にあることは、夏季の昼の時間が長くなる要因となっている。
 4. 日本海を北上する対馬海流は暖流であり、この地域の気候に影響を与えている。
- 問7 北海道の石狩平野で見られる「泥炭地」の土地改良について、その目的と仕組みを説明したものととして最も適切なものはどれですか。（2022年 三重県公立入試 類似）
1. 山がちな地形で平地が少ないため、斜面を階段状に切り開いて石垣で固定し、日当たりの良さを活かしてみかんを栽培するため。
 2. 砂丘が広がる乾燥した土地に、スプリンクラーなどの灌漑設備を整え、らっきょうやスイカなどの栽培を可能にするため。
 3. 水分が多く植物の遺骸が堆積した土地に、別の場所から土を運び入れることで、排水性を高め稲作に適した農地にするため。
 4. 火山灰が降り積もった水持ちの悪い土地に、粘土質の土を混ぜ合わせることで、水田に必要な水を蓄えられるようにするため。
- 問8 日本の農業に関する統計データにおいて、北海道が他の地方と比較して圧倒的に高い数値を示している二つの項目の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2017年 福岡県公立入試 類似）
1. 単位面積あたりの農業従事者数と、一人あたりの肥料使用量
 2. 農業従事者一人あたりの農業使用量と、一人あたりのビニールハウスの面積
 3. 農業従事者一人あたりの耕地面積と、一人あたりのトラクター保有台数
 4. 総農家数に占める兼業農家の割合と、一人あたりの労働時間
- 問9 世界遺産に登録されている知床では、多くの観光客が訪れる一方で、自然環境を破壊しないための対策が取られています。湿原や高山植物が広がるエリアに「木道」が設置されている主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 千葉県公立入試 類似）
1. 大雨が降った際に地面の侵食を防ぎ、土砂が海へ流出するのを食い止めるため
 2. 周辺の森林から切り出された木材の輸送を効率化し、地元の林業を活性化させるため
 3. ヒグマなどの野生動物が、人間の歩行ルートに侵入できないように物理的に遮断するため
 4. 観光客が地面を直接踏み固めて、貴重な植物の成長を妨げないようにするため
- 問10 北海道二セコ町の月別外国人宿泊者数は12月から3月にかけて突出して多く、産業別の就業者数割合では飲食業・宿泊業が17.8%で最も高い数値を示しています。これらのデータから読み取れる地域の特徴として、最も適切な記述を選びなさい。（2026年 岩手県公立入試 類似）
1. 夏季の観光需要の高まりに合わせて外国人観光客が集まるため、年間を通じて農業の就業者数が最も多い。
 2. 外国人観光客の宿泊が夏場に集中しているため、冬場は観光関連産業の就業者が減少し農業へ移行している。
 3. 全国の平均と比較して製造業の就業者割合が極めて高く、外国人観光客は年間を通じて均等に宿泊している。
 4. ウインタースポーツを目的とした外国人観光客の増加に伴い、飲食・宿泊関連の産業が町の中心的な雇用を生み出している。
- 問11 北海道では、サケの稚魚を人工的に育ててから川へ放流する取り組みが盛んに行われています。このような、自然の再生産能力を補い、水産資源を維持・増大させるために行われる「栽培漁業」の仕組みとして、最も適切な説明はどれですか。（2019年 岡山県公立入試 類似）
1. 大型の漁船を用いて遠くの公海まで出向き、回遊している魚を網で一度に大量に漁獲する。
 2. 卵からかえした稚魚を、自力で生き抜く力がつくまで育ててから放流し、成長後に漁獲する。
 3. 海岸近くの浅瀬に産卵場所を人工的に作り、自然に卵が孵化して育つのを待ってから漁獲する。
 4. 海の一部を網などで囲った生け簀（いけす）の中で、稚魚から成魚になるまで餌を与えて育てる。